

審判報告書（重要事項）

競技会名 第〇〇回 全日本少年サッカー大会 東京都大会 第18ブロック予選

対 戦 A HOME-FC 対 B AWAY-FC

日 時 2 0 2 4 年 3 月 2 日 1 0 時 1 5 分キックオフ

退場、その他の重要事項についての詳細

- ・ HOME-FC・西裕次郎選手（背番号4）による得点の阻止の為、退場について。
39分、HOME-FCの西裕次郎選手（背番号4）は、AWAY-FCの東京一郎選手（背番号10）がペナルティエリア付近でGKをかわし、シュートしたボールを手で止めて決定的な得点を阻止した。
この行為により、西裕次郎選手を退場処分とした。
西裕次郎選手は異議を示すことなく速やかにフィールド周辺から離れた。
HOME-FCのベンチ役員も素直に応じた。

競技者が補充された後、ペナルティキックで試合を再開した。

8人制サッカー場合

- ・ HOME-FC・指導一男氏（監督）による侮辱的発言の為、退場について。
39分、HOME-FCの西裕次郎選手（背番号4）の退場処分に対し、HOME-FCの指導一男氏（監督）がテクニカルエリアを出て、「なんで退場なんだ。ふざけんな！ヘタクソ審判」と、侮辱的な発言を強い口調で大きな声で行った。
この行為により、指導一男氏を退場処分とした。
指導一男氏は異議を示しながらも、フィールド周辺から離れた。

以下余白

- ・ タイトル
- ・ 客観的な事象（何分に、どこで、誰が、誰に対して、どういう状況で、どのような行為をしたのか）を詳しく書くこと
主審の感情や主観を含めないこと
- ・ 主審の下した決定
- ・ 退場、退席後の競技者、役員の行動・態度

※一発退場以外で重要事項に記入する必要がある事項

- ・ 主審が懲戒の罰則を運用することのできない時間帯に懲戒罰に相当する行為があった場合
- ・ 副審や第4の審判員に問題があった場合

以上の通り報告いたします。 2 0 2 4 年 3 月 2 日 主審署名 審判 太郎
0 8 0 - 1 1 1 1 - 2

(公財)東京都サッカー協会会長 殿